

新石垣空港建設域内に生息する絶滅危惧種コウモリ類の保全に関する要望書

沖縄県石垣島東部に位置するカラ・カルスト地域において、新石垣空港の建設が進められている。この地域はカラ岳南部一帯に広がる琉球石灰岩台地で、面積 0.6 平方キロの狭い地域ながら自然洞窟群が集中し、絶滅危惧 IB 類にランクされた 3 種のコウモリ類（カグラコウモリ、ヤエヤマコキクガシラコウモリ、リュウキュウユビナガコウモリ）の重要な生息地になっている。

当地域には、これらのコウモリ類が出産・哺育や休眠（冬眠）などに利用する洞窟がいくつも存在している。新石垣空港の建設によって、このような 10 洞窟のうち、A 洞と D 洞、および D 1 洞以外の 7 洞窟は改変される予定である（添付地図参照）。このことと、餌場となっている樹林帯の減少、移動経路の分断などは、年 1 子しか生まないこれらコウモリ類のカラ・カルスト地域集団のみならず石垣島個体群全体にも重大な影響を及ぼす可能性がある。

日本哺乳類学会会員を構成員に含むカラ・カルスト地域学術調査委員会による 2006 年からのコウモリ類の調査、および工事の進捗などにより、それまでの沖縄県による調査では知られていなかった重要な事実がいくつか明らかになっている。それは以下の 3 点である。

1) A 洞の洞口付近と C 洞の洞口内において、出洞する個体の中に繁殖に関わるリュウキュウユビナガコウモリの雌が捕獲され（添付地図参照）、両洞が島内においてこれまで未知である同種の繁殖場所である可能性があり、唯一のものである可能性があること。

2) A 洞南側に隣接する D1 洞付近に、空気の流れから A 洞に通じる複数の洞口があると推測され、その内の 1 つの洞口はヤエヤマコキクガシラコウモリ 400 頭以上が利用する出洞口であること（このルートは増水時に A 洞奥の哺育場所から洞外へのバイパスとして極めて重要なものである可能性がある）。

3) 工事の過程で、ヤエヤマコキクガシラコウモリに利用されている洞窟（C1、B1 洞）が 2007 年、2008 年に相次いで発見されたこと。

以上から、日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会は、絶滅危惧コウモリ類 3 種の石垣島個体群を保全するために、以下のことを要望する。

1. A 洞と C 洞におけるリュウキュウユビナガコウモリの出産・哺育場所の有無を確定するため、特に C 洞の今秋以降の改変工事を延期し、来年夏季に、沖縄県、カラ・カルスト地域学術調査委員会、および外部有識者による詳細な合同調査を行うこと。

2. 新たに発見されたC1 洞とB 1 洞について、コウモリ類の生息調査を少なくとも1年
以上は実施し、その利用実態を確認したうえで新たに十分な保全措置を図ること。
3. 新石垣空港建設域内で希少コウモリ類3種が利用する洞窟群における、工事開始後の
各種個体数の減少の有無とその意味を検証するため、例年公開されている沖縄県によ
る調査結果を、2008年度分についても早期に公開するとともに、来年度、沖縄県、カ
ラ・カルスト地域学術調査委員会、および外部有識者による合同調査を行うこと。
4. 上記の調査結果や環境影響調査後の新たな事実を含めて、再度、環境影響評価を行い、
コウモリ類3種のカラ・カルスト地域集団さらには石垣島個体群について、適切かつ
有効な保全措置を図ること。

以上

2008年9月30日

哺乳類保護管理専門委員会 委員長 石井信夫

提出先：沖縄県知事、国土交通大臣、環境大臣

添付資料（地図：洞窟の分布とコウモリ類各種のねぐら場所およびリュウキュウユビナガ
コウモリの捕獲地点）

2008年9月30日

沖縄県知事 仲井眞 弘多 様

拝啓 日ごろより日本哺乳類学会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、沖縄県石垣島東部の陸域（カラ・カルスト地域）において新石垣空港の建設が進められております。このたび、この事業に関連して、日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会では、「新石垣空港建設域内に生息する絶滅危惧種コウモリ類の保全に関する要望書」を作成いたしましたので、提出させていただきます。

つきましては、本要望書をご査収のうえ、早急にご検討いただきたく、お願い申し上げます。

敬具

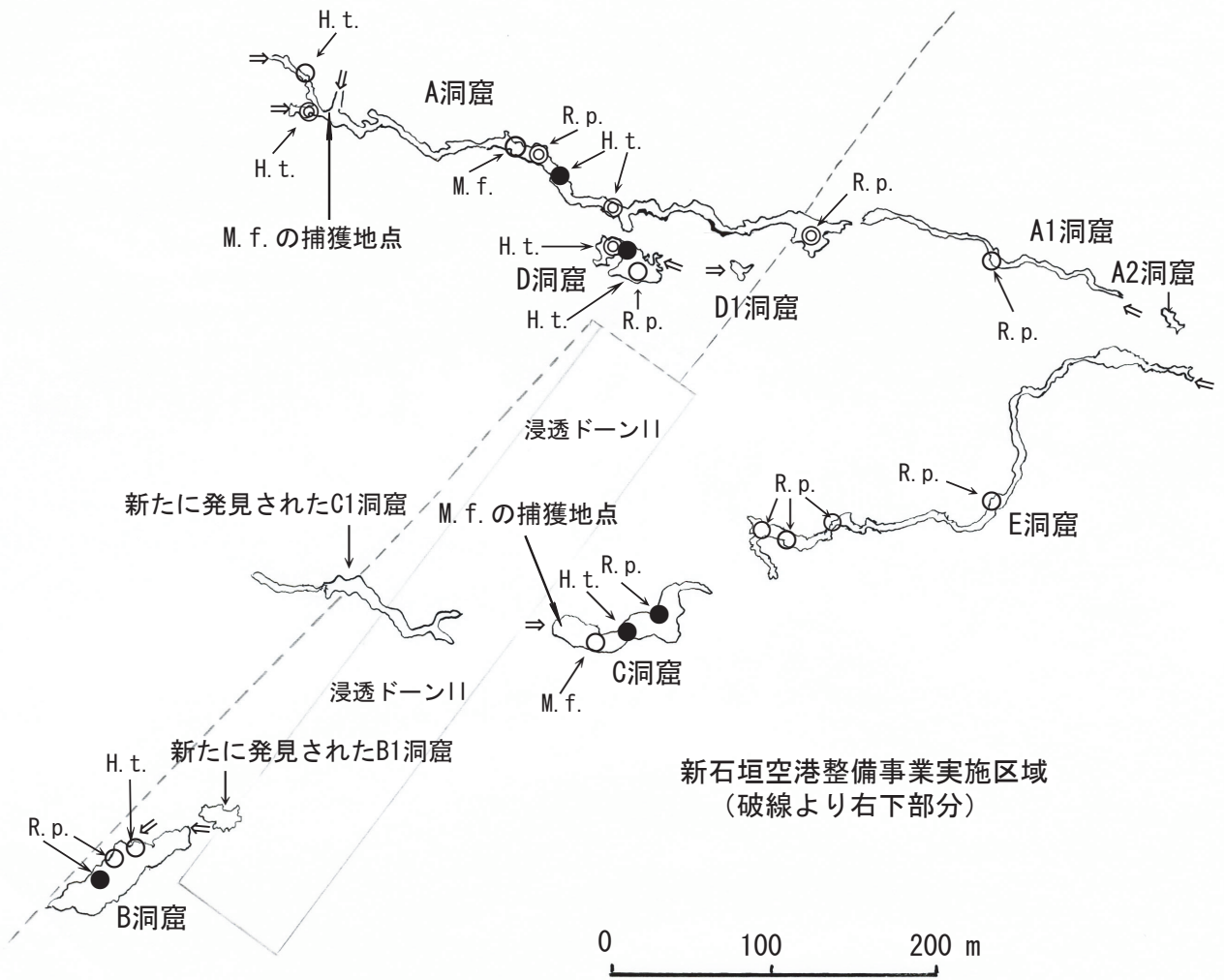
日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会 委員長 石井 信夫

連絡先：〒110-8676 東京都台東区下谷 3-10-10 財団法人自然環境研究センター

日本哺乳類学会事務局

電話：03-5824-0967、FAX：03-5824-0968

○ : ねぐら ⊙ : 出産・哺育場所 ● : 冬眠場所 ⇒ : 洞口
 H. t. : カグラコウモリ R. p. : ヤエヤマコキクガシラコウモリ
 M. f. : リュウキュウユビナガコウモリ



洞窟の分布とコウモリ類各種のねぐら場所